

赤ちゃん医学から生まれた

Aprica

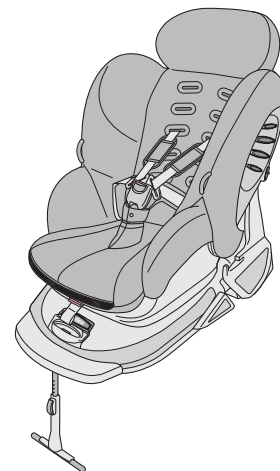
ベビー&チャイルドシート・ベッド

マシュマロベッド Wサーモ

〈750〉〈900〉〈1000〉

取扱説明書／保証書

体重2.5kg以上18kg以下のお子さま用です。
自動車の3点式シートベルト装着の座席のみ使用できます。



このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。
また、お読みになった後は、本書は必ずポケットに保管してください。

ご使用
まえに

ご使用上
の注意

取り付け
まえに

各部の
操作方法

横向き
ベッド使用

後ろ向き
使用

前向き
使用

お手入れ
方法

困った
ときに

ご使用まえに

チャイルドシートについて	3
チャイルドシート使用時のアドバイス	3
表示内容について	3
お子さまの使用条件	4

取り付けできる座席の条件

座席の位置及び装備	5
座席の形状	5
シートベルトの種類	6
シートベルトの取り付け位置	6

取り付けできない座席

車の装備及び取り付け位置による場合	7
座席形状による場合	8
シートベルトの種類による場合	9
シートベルトの長さや取り付け位置による場合	10

ご使用上の注意

緊急時のお子さまの降ろし方	11
危険	11
警告	13
注意	15
禁止	17

取り付けまえに

ラベルについて	19
ラベル類の貼付位置及び内容	19
ご使用前の確認	21
本体と付属品の名称	21

各部の操作方法

本体の回転方法	23
リクライニングの調節	23
バックルの取り付け、取り外し方	23
肩ベルト通し穴位置	24
肩ベルトの高さ調節	25
レッグサポートの取り付け方	27
ダブルシェードの使用法	27
ベンチレーションの使用法	27
プロテクター・パッド類について	28

車への取り付け方法 (横向きベッド・後ろ向き・前向き共通)

本体の準備	31
本体の取り付け方	31

横向きベッド使用 体重:2.5kg以上8kg未満 参考身長:49cm以上65cm未満

本体の取り付け方	33
スタンドの使用法	34
フィットスペーサーの使用法	34
横向きベッド 取り付けチェック	35
お子さまの乗せ方	35
ヘッドプロテクターの位置調節	36

後ろ向き使用 体重:7kg以上10kg未満 参考身長:65cm以上75cm未満

本体の取り付け方	37
後ろ向き 取り付けチェック	38
お子さまの乗せ方	38

前向き使用 体重:9kg以上18kg未満 参考身長:75cm以上105cm未満

本体の取り付け方	39
前向き 取り付けチェック	40
お子さまの乗せ方	40

お手入れ方法

シートカバーの外し方	41
シートカバーの取り付け方	43
シートカバーのお手入れ	43
樹脂部分のお手入れ	43
保管方法	44
廃棄方法	44
アフターサービスについて	44
製品仕様	44

困ったときにお読みください。

ご使用前に困ったとき	45
車への取り付けで困ったとき	45
お子さまの着用や調節で困ったとき	46
再利用で不明な場合	46
保証書	裏表紙

ご使用まえに

チャイルドシートについて





- ・チャイルドシートはシートベルトで自動車の座席に固定してご使用いただくことにより、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減するためのものです。必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・本品は日本国内において、ご使用いただけます。

チャイルドシート使用時のアドバイス

- ・お子さまを最初に車に乗せる時からチャイルドシートの使用を習慣にして、例外をもうけないようにしてください。
- ・長時間のドライブでは、定期的に休憩を取って、お子さまの気分転換をはかってください。
- ・車の中では同乗者も必ずシートベルトをしてください。

表示内容について

- ・「危険」、「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
 禁止	製品の取扱いの禁止の行為です。絶対してはいけない内容です。

お子さまの使用条件

- ・下記の条件を満たさないお子さまには絶対使用しないでください。
(この条件を満たさないお子さまには事故時のダメージを軽減する効果がありません。)

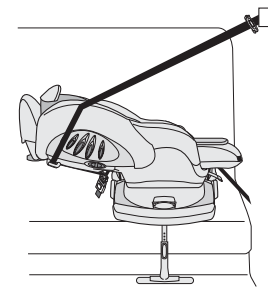
横向きベッド使用

体 重…2.5kg以上8kg未満

参考身長…49cm以上65cm未満

肩ベルト通し穴…1～3段目

リクライニング…3段目(ベッド)



- ・首が安定し、一人すわりができるまで。
- ・あおむけに寝かせた時、肩ベルト、腰ベルトが体にフィットすること。
- ・ヘッドプロテクターを使用してください。

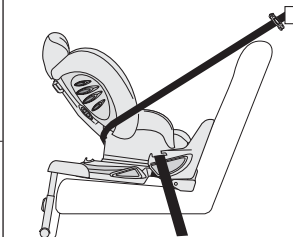
後ろ向き使用

体 重…7kg以上10kg未満

参考身長…65cm以上75cm未満

肩ベルト通し穴…3、4段目

リクライニング…2段目



- ・首が安定し、一人すわりができること。

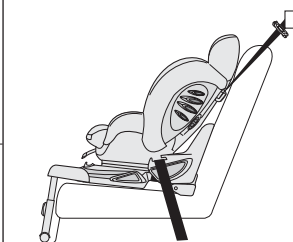
前向き使用

体 重…9kg以上18kg以下

参考身長…75cm以上105cm未満

肩ベルト通し穴…4、5段目

リクライニング…1段目



- ・お子さまを座らせた時、頭部重心位置(耳の上端部)がヘッドレストの上端部より下になること。
- ・左右のタングがバックルへ差し込めること。

取り付けできる座席の条件

座席の位置及び装備

- ・車の進行方向に対して前向きの座席。

お奨めする取り付け座席の位置

- ・お子さまの安全性を高めるために、2列目以後の座席（運転席より後ろの列の座席）に取り付けることをお奨めします。
- ・やむを得ず助手席に取り付けた場合は、お子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく、お子さまが運転装置にさわって事故につながるおそれがあります。

やむを得ずフロントエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意

- ・前向きのみ取り付けできます。横向きベッド、後ろ向きでは取り付けません。
- ・お子さまに対してエアバッグの影響を少なくするため、助手席をいちばん後ろまで移動させてください。
- ・エアバッグを無作動（OFF）にする場合は、車の取扱説明書に従ってください。

サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意

- ・車の取扱説明書に従って取り付けてください。
- ・車の取扱説明書に取り付け方の説明が記載されていない場合は、自動車メーカーのお客さま相談窓口にお問い合わせください。



- ・プリテンショナー付シートベルト（強い衝撃を前面から受けたときにシートベルトを引き込む）で強い衝撃を受け作動後は、そのまま使用せずに車の購入店で点検を受けてください。

座席の形状

- ・座面の奥行きが40cm以上52cm未満の座席。
 - ・座面の平らな面の幅が38cm以上の座席。
- ※必ず「取り付けできない座席（座席形状による場合）」(P8) をご参照ください。

シートベルトの種類

- ・必ず3点式シートベルトが取り付けられていること。

シートベルトの種類	特 徴	取り付け上の注意点	取付可否	
3点式シートベルト	ELR (緊急ロック式巻取装置) 付シートベルト	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。	○
	A-ELR (チャイルドシート固定機構) 付シートベルト	ベルトをすべて引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構のELR付き。	シートベルトをすべてもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。	○
	ALR (自動ロック式巻取装置) 付シートベルト	ベルトを引き出す途中で手を止めると、自動ロックされる巻取装置付き。	お子さまを乗せ必要な長さだけ引き出して使用すること。	○
	NLR (非ロック式巻取装置) 付シートベルト	ベルトをすべて引き出してから長さを調節する。	シートベルトをすべて引き出した状態から、長さを調節して使用すること。	○
	手動調節式 シートベルト	巻取装置が付いていない。	長さを調節して使用すること。	○
	腰ベルト側にELRが 付いたシートベルト	腰側の取り付け部で出し入れできるELR付き。	チャイルドシートを取り付けない。	⊘
2点式シートベルト	肩ベルトがなく腰ベルトのみ。	チャイルドシートを取り付けない。	⊘	
バッシュシートベルト (オートマチックシートベルト)	前部座席に乗ってドアを閉めると自動的に装着され、ドアを開けると自動的に外れる。	チャイルドシートを取り付けない。	⊘	
その他のシートベルト	上記以外のもの全て。	チャイルドシートを取り付けない。	⊘	

※詳しくは車の取扱説明書をお読みください。

※ ○：取り付けできる ⊘：取り付けできない

※必ず「取り付けできない座席（シートベルトの種類による場合）」(P9) をご参照ください。

シートベルトの取り付け位置

- ・シートベルトの取り付け位置の幅が33cm以上の座席。
- ・シートベルトのバックルの高さが座面より15cm未満の座席。
- ・シートベルトの取り付け位置の高さが座面より15cm未満の座席。
- ・シートベルトのバックル、及び腰シートベルトの取り付け位置が背もたれより前方に10cm未満の位置にある座席。

※必ず「取り付けできない座席（シートベルトの長さや取り付け位置による場合）」(P10) をご参照ください。

取り付けできない座席

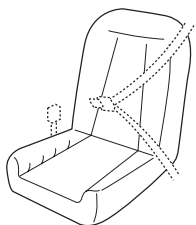


・取り付けできない座席へ無理に取り付けないこと。
衝突や急ブレーキなどによりチャイルドシートが車内の構造物や乗員にぶつかったり、車外に放り出されたりしてお子さまや他の乗員が重大な傷害を受けるおそれがあります。

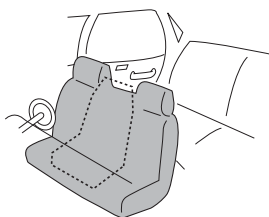
車の装備及び取り付け位置による場合



・車の進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。

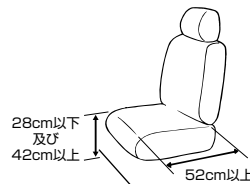


・シートベルトがついていない座席。



・前列の中央座席。
(前列ベンチ座席仕様車)

座席形状による場合

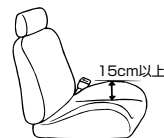


・奥行きが52cm以上の座席。
(補助座席、幼児専用座席)

・座面から床までの高さが28cm以下及び42cm以上の座席。



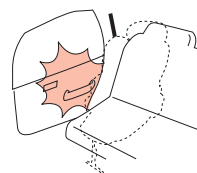
・座席のフラット面が狭く38cm未満の座席。
(市販座席に取り替えられた車両、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席など)



・臀部をホールドするため落とし込んである座席で、バックル位置が座面より15cm以上高くなる座席。
(チャイルドシートが落ち込むため取り付けが悪くなります。)

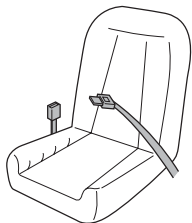


・大腿部、臀部をホールドするため落とし込んである座席で、チャイルドシートの底面が座席に一部のみ接する座席。
(市販座席に取り替えられた車両、スポーツ車、レース車など)

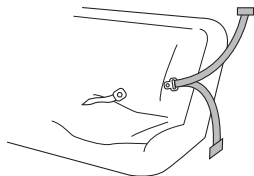


・座席以外のピラーやドアなどの車両構造物に本品が接触して、正しく取り付けできない座席。

シートベルトの種類による場合



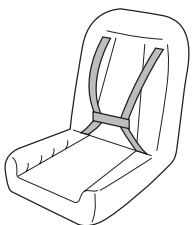
・2点式シートベルトの座席。



・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。



・パッシブシートベルトの座席。
(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)

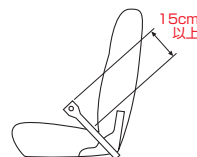


・市販のスポーツタイプシートベルトが装備されている座席。

シートベルトの長さや取り付け位置による場合



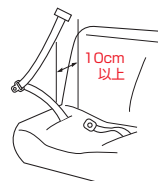
・車のシートベルトの取り付け幅が、**33cm未満**の座席。



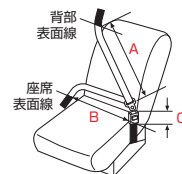
・バックル側のベルトが樹脂製などで固く、**バックル位置が高い**座席。(RV車に多い)
・座面より**15cm以上**高いと、チャイルドシートのベルト固定ガイドに干渉し、チャイルドシートが固定できません。



・シートベルトの取り付け位置が高い座席。
座面より**15cm以上**の座席。(2ドア車に多い)

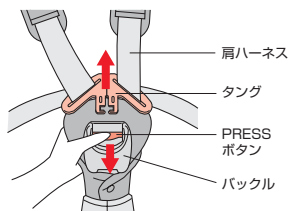


・車のシートベルトのバックル、及び腰シートベルトの取り付け位置が前方によっている座席。
・背もたれより**10cm以上**前方で、シートリクライニング機構のない座席。



・シートベルトの長さ (A + B + C) が**220cm以下**の座席。
(220cm以上ならOK)

緊急時のお子さまの降ろし方



緊急の時はあわてずに…

- ①バックルの PRESS ボタンを押し下げタングを外す。
- ②肩ベルトをお子さまから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろしてください。
- ④安全な場所へ避難してください。



バックルからタングが抜けない時は…

- チャイルドシートの肩ベルトを刃物などで切り、お子さまを降ろしてください。

危険


・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

危険

	<p>体重 2.5kg 未満及び 18kg を超えるお子さまには使用しない。</p>	<p>衝突や急ブレーキなどにより生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。</p>
	<p>身長が 105cm 未満であっても頭部重心位置（耳の上端部）がヘッドレストの先端部から上に出るお子さまには使用しない。</p>	
	<p>チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。</p>	






危険







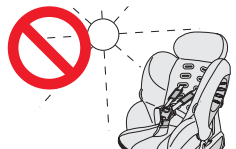
	<p>レッグサポートを取り外しての使用、及び車のフロアに接しない、また一部のみ接している状態で使用しない。</p>	<p>レッグサポートの効果が充分発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。</p> <p>チャイルドシートを取り付ける車のフロアの形状・状態について不明な点は、各自動車メーカー又は、自動車販売店にお問い合わせください。</p>
	<p>車のフロアに、ヒューズボックス、収納型シート、コンソールボックス、スペアタイヤの収納スペースなどがある座席。また、クッションなどの柔らかい素材で底上げされたフロアの座席には取り付けない。</p>	
	<p>調節ボタンの前にロックを解除する様な物を置かない。</p>	
	<p>ベッド状態以外では横向きを使用しない。</p>	<p>衝突や急ブレーキなどによりお子さまが生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。</p>
	<p>チャイルドシートのバックルを外して使用しない。</p>	
	<p>お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。</p>	
	<p>シートベルトに破傷がある座席には取り付けない。</p>	

⚠ 危険		
	SRS エアバッグが装備された座席にチャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。	衝突などの緊急時に、エアバッグの作動によりお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。




警告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 警告		
	チャイルドシート使用時は、お子さまを一人で車内に残さない。	お子さまの不特定の行動によりベルトが首に巻き付いたり、炎天下の車内の高温により生命に関わる重大な事故につながるおそれがあります。
	後ろ向き取り付け時、ベッドで使用しない。	衝突や急ブレーキなどにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
	肩ベルトは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。	
	ベッド状態でチャイルドシートの座面からお子さまの足がでる場合は使用しない。	
	ベッド使用時は、お子さまの頭が車の外側になるように取り付けない。	

⚠ 警告		
	ベッド横向き使用時、お子さまを拘束したままリクライニングを起こさない。	お子さまが圧迫され重大な傷害を受けるおそれがあります。
	二人以上で使用しない。	衝突や急ブレーキなどによりお子さまが強い圧迫などを受け重大な傷害を受けるおそれがあります。
	肩ベルト、腰ベルトは、ねじれ、緩んだ状態で使用しない。また、腰ベルトは骨盤上以外で着用しない。(腰ベルトは骨盤上に低く下げて着用する。)	
	2 ドア、3 ドア車及び 1 ボックス車など、乗降時に通路となる座席にチャイルドシートを取り付けない。	衝突などの緊急時に、内部の人が脱出できず重大な事故につながるおそれがあります。
	チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。	走行中に敷物が移動し本来の性能を発揮できなくなるおそれがあります。
	車を走行中にチャイルドシートの操作(ベルト調節、リクライニング操作など)を行わない。	重大な事故につながるおそれがあります。
	お子さまを乗せる前は、チャイルドシートを直射日光にさらさない。	バックルなどが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。




警告

	チャイルドシート使用中、お子さまにバックルのPRESSボタンを触らせない。	バックルが外れ危険になるおそれがあります。
	肩ベルトや股ベルトに傷、損傷、キ裂、焦げなどがある場合は使用しない。	衝突や急ブレーキなどにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
	チャイルドシートを本書の説明以外の方法で取り付けない。	





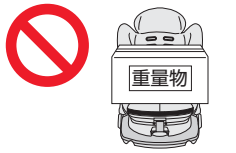


注意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。



注意

	車の座席が皮仕様の場合は、直接取り付けない。	皮シートが損傷を受けるおそれがあります。 チャイルドシートと座席間に保護シート（薄いゴムマットなど）をご使用ください。
	ベッド状態でお使いの時、座面が車のドアトリムなどに干渉しドアを閉めることができない場合はその座席に取り付けない。	衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守る為の機能が十分発揮できなくなるおそれがあります。
	火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。	樹脂が変形し性能を維持できなくなります。また火災のおそれがあります。

注意

	通常の椅子として使用しない。	転倒して、お子さまがけがをするおそれがあります。
	お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタンクはバックルから外しておかない。	バックルにゴミなどが入り本来の性能が発揮できなくなるおそれがあります。
	小さなお子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。	衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守る為の機能が十分発揮できなくなるおそれがあります。
	本品を車のシートの可動部やドアに挟まない。	本来の性能が損なわれるおそれがあります。
	本品に重量物を載せない。	
	固定されていない物を車内に置かない。	急ブレーキや、衝突時にお子さまに当たるおそれがあります。
	チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。	重大な事故につながるおそれがあります。





⚠ 注意

	<p>シートベルトで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。</p>	<p>衝突や急ブレーキ時に車内に転がり、運転の妨げになることがあります。</p>
	<p>バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は使用しない。</p>	<p>衝突や急ブレーキなどによりお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。</p>

禁止

・製品の取扱いの禁止の行為です。絶対してはいけない内容です。


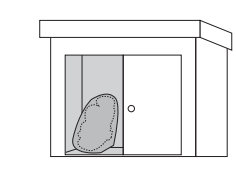
⊘ 禁止

	<p>事故などで強い衝撃が加わった後に使用しない。</p>	<p>外観上破損が見えなくても本来の性能が損なわれる場合があります。</p>
	<p>落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。</p>	
	<p>屋外に放置し雨などにさらした後に使用しない。</p>	<p>衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守る為の機能が十分発揮できず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。</p>
	<p>シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。</p>	

⊘ 禁止

	<p>本品を分解、改造、指定以外の部品と交換した状態で使用しない。</p>	
	<p>お子さまとチャイルドシートやベルトの間に、おもちゃなどを挟んだり、拘束性能に悪い影響を与えるようなアクセサリーを取り付けない。</p>	<p>衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守る為の機能が十分発揮できず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。</p>
	<p>保護者、介護者などが椅子など腰掛けとして使用しない。</p>	
	<p>お子さまの遊び道具として使用しない。</p>	<p>本来の性能が損なわれる場合があります。また、お子さまがけがをするおそれがありますのでおやめください。</p>

お願い

	<p>本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しないでください。</p>	<p>変色、変形、劣化のおそれがあります。</p>
	<p>長期間、ご使用にならない場合は、本品に、市販の袋などをかぶせて直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。</p>	

取り付けまえに

ご使用前の確認

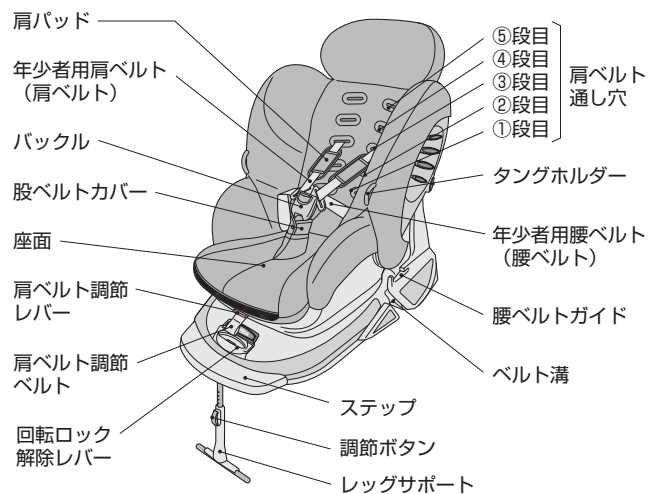
- ・製品を箱から取り出した後に、部品が揃っているか、破損などがないかを確認してください。
- ・欠品や破損などをご確認された場合には使用を中止し、お買い上げの販売店または当社サービス係までご連絡ください。

※本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどをわかりやすくするため、現物とは若干異なる場合があります。

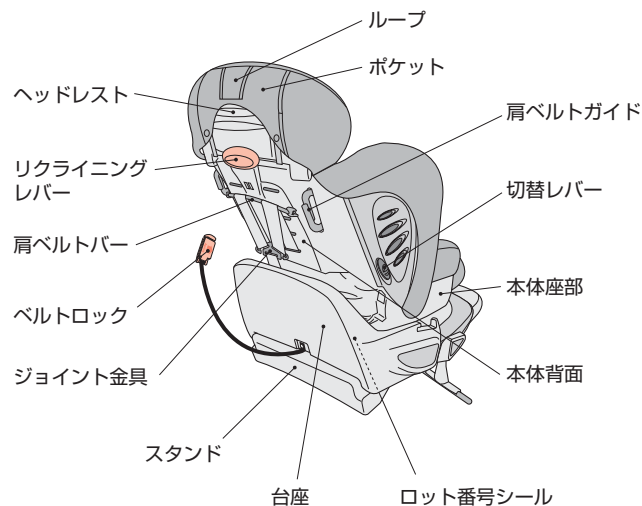
※本文の説明では、年少者用肩ベルトは「肩ベルト」、年少者用腰ベルトは「腰ベルト」と表記しています。

本体と付属品の名称

正面



背面



プロテクター・パッド類

<750>



ヘッドプロテクターB
ドーナツピロー
肩パッドA

<900・1000>



ヘッドプロテクターC
新生児パッド
ドーナツピロー
肩パッドB
シートパッド

<1000のみ>



フットプロテクター

※箱から取り出した状態では、プロテクター・パッド類は本体にセットされております。

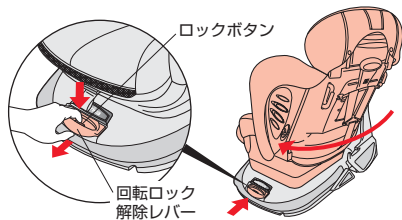
付属品



ベルトクリップ
フィットスペーサー
ベルト通し金具
ビデオ
お客様登録カード
取扱説明書(本書)

各部の操作方法

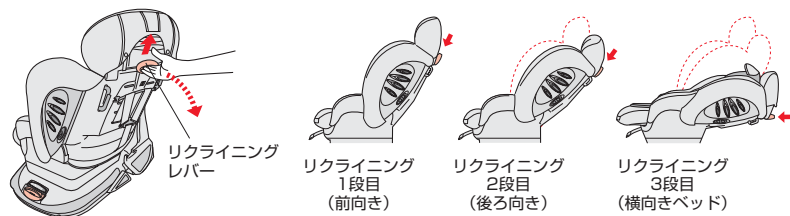
本体の回転方法



・ロックボタンが戻っていることを確認してください。

●回転ロック解除レバー中央のロックボタンを押した状態で、手前に引いて本体を回転させます。90°ごとにレバーが戻り「カチッ」と固定されることを確認してください。

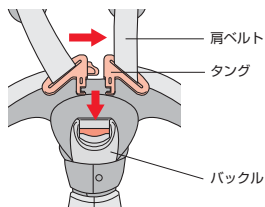
リクライニングの調節



●リクライニングレバーを引き上げた状態で、リクライニングを倒し角度を調節します。レバーが戻り固定されていることを確認してください。

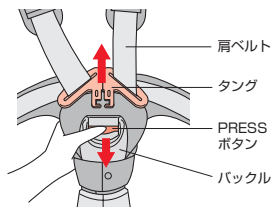
バックルの取り付け、取り外し方

〈取り付け方〉



●左右のタングを組み合わせながら、バックルに固定されるまで差し込みます。

〈取り外し方〉



●バックルのPRESS ボタンを押し下げて、タングを外します。

肩ベルト通し穴位置

・説明のためプロテクター・パッド類を外したイラストを使用している箇所があります。

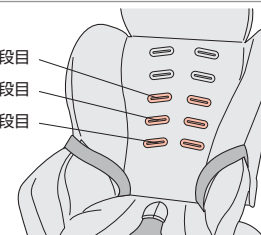
横向きベッド使用

参考身長

- ・ 1 段目 (50cm 位)
- ・ 2 段目 (58cm 位)
- ・ 3 段目 (65cm 位)

を目安として、位置を決めてください。

3段目
2段目
1段目



注) 箱から出した状態では 1 段目にセットされており
ます。



・横向きベッド状態では、肩ベルト通し穴の 4 段目、5 段目は使用できません。

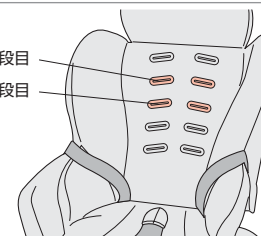
後ろ向き使用

参考身長

- ・ 3 段目 (65cm 位)
- ・ 4 段目 (75cm 位)

を目安として、位置を決めてください。

4段目
3段目



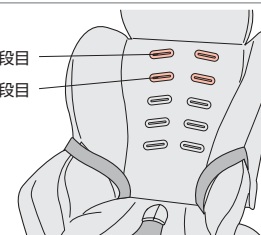
前向き使用

参考身長

- ・ 4 段目 (75cm 位)
- ・ 5 段目 (90cm 以上 105cm 未満)

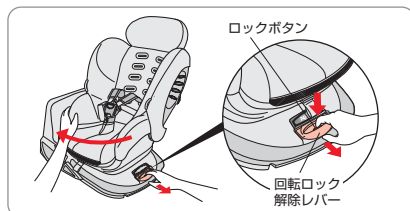
を目安として、位置を決めてください。

5段目
4段目

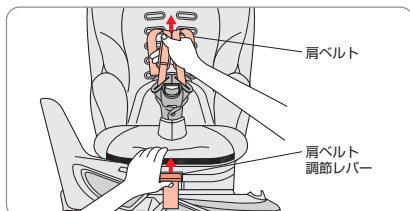


各部の操作方法

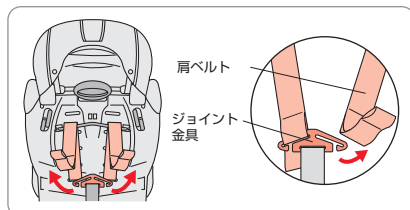
肩ベルトの高さ調節



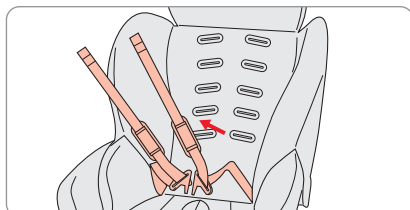
①回転ロック解除レバー中央のロックボタンを押した状態で、手前に引いて本体を横向きに回転させます。



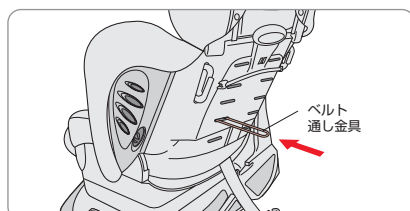
②肩ベルト調節レバーを持ち上げた状態で、肩ベルトを緩めます。



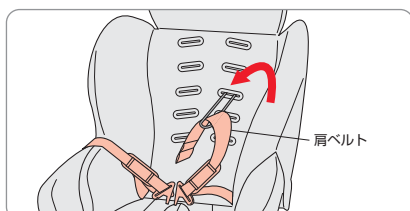
③本体背面のジョイント金具から左右の肩ベルトを外します。



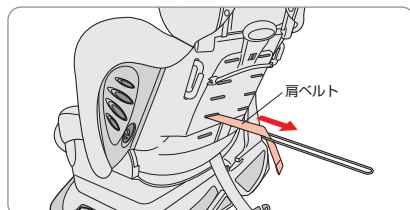
④背もたれの表側から肩ベルトを引き抜きます。



⑤お子さまの体格に合った肩ベルト通し穴位置を選択し、背もたれの背面側からベルト通し金具を差し込みます。



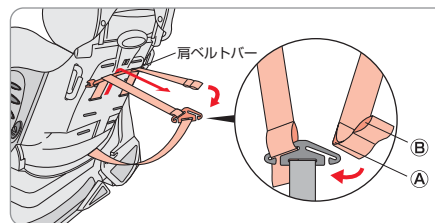
⑥本体正面からベルト通し金具に肩ベルトを通します。



⑦ベルト通し金具を背面側に引き抜きます。(左右同じ位置)

横向きベッド使用

〈1 段目・2 段目・3 段目〉

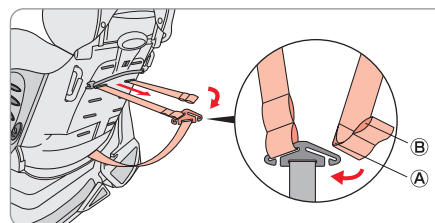


⑧左右の肩ベルトを肩ベルトバーに通してからジョイント金具にとめます。

※肩ベルトには、ジョイント金具にとめる位置が2段あります。ベッド時は基本的に①Aの位置を使います。お子さまの体格によっては①Aの位置で乗せることができない場合は①Bの位置を使います。

後ろ向き使用

〈3 段目・4 段目〉

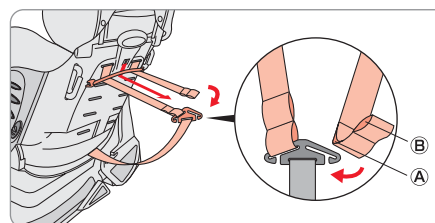


⑧4 段目のみ肩ベルトバーに通さず、そのまま下へおろします。

※肩ベルトは、①Bの位置を使います。お子さまの体格によっては、①Bの位置で肩ベルトが余る場合があります。その場合は、①Aの位置を使います。

前向き使用

〈4 段目・5 段目〉

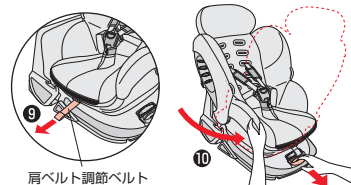


⑧5 段目のみ上から下に肩ベルトバーの内側を通します。

※肩ベルトは、①Bの位置を使います。お子さまの体格によっては、①Bの位置で肩ベルトが余る場合があります。その場合は、①Aの位置を使います。



・肩ベルトをジョイント金具にとめる際に、肩ベルト調節ベルトがねじれていないことを確認してください。

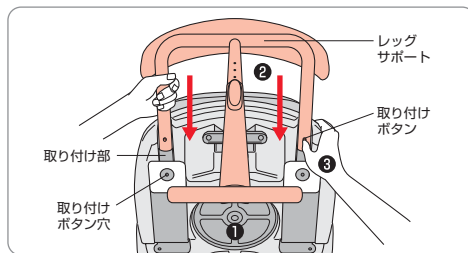


⑨肩ベルト調節ベルトを引いて、ジョイント金具部のたるみをなくします。

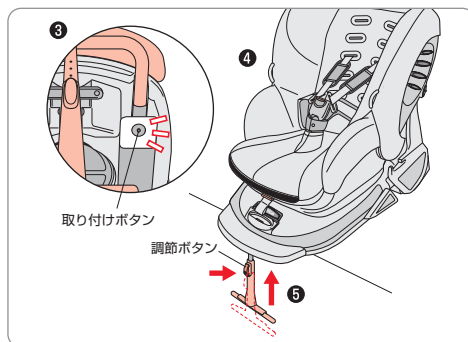
⑩回転ロック解除レバーを手前に引いて本体を前向きに戻します。

各部の操作方法

レッグサポートの取り付け方



- 1 レッグサポート取り付け部が見えるように本体を倒します。
- 2 レッグサポートを取り付け部に差し込みます。
- 3 左右の取り付けボタンを押した状態で、取り付けボタンが取り付けボタン穴に確実に入るまで押し込みます。



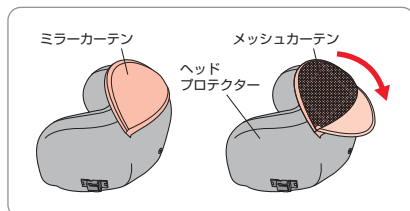
- 4 本体を起こします。
- 5 調節ボタンを押して、レッグサポートを一番縮めた状態に調節します。

<調節方法>

- 調節ボタンを押して、下に移動させます。

ダブルシェードの使用方法

- ・ダブルシェードは、ミラーカーテンとメッシュカーテンを使用して、お子さまを快適な状態にするために使用します。



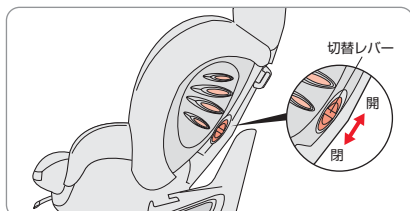
- ミラーカーテンをめくるとメッシュカーテンが使用できます。

※ダブルシェードは、車内の日差しやお子さまの状態により必要に応じて使用してください。

※ダブルシェードは、ヘッドプロテクターにフックでとめられ取り外しができます。

ベンチレーションの使用方法

- ・ベンチレーションは、切替レバーによりチャイルドシートの側部孔を開閉して、お子さまを快適な状態にするために通気を調節します。



- 切替レバーを「開」<閉>に切り替えて通気を調節します。

プロテクター・パッド類について

- ・次の表は、各プロテクター・パッド類の取り外し時期の目安です。
- ※ヘッドプロテクターB、Cは横向きベッド使用時には必ず必要です。

<750>

発達状況	ヘッドプロテクターB	ドーナツビロー	腰パッドA
新生児	必要	必要	必要
首が安定してから	必要	外しても良い	必要
腰が安定してから	必要	外しても良い	外しても良い

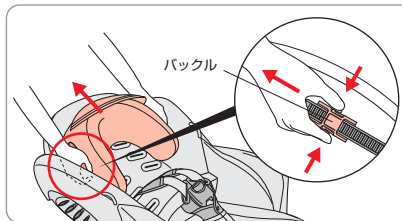
<900・1000>

発達状況	ヘッドプロテクターC	新生児パッド	ドーナツビロー	腰パッドB	シートパッド
新生児	必要	必要	必要	必要	必要
首が安定してから	必要	外しても良い	外しても良い	必要	外しても良い
腰が安定してから	必要	外しても良い	外しても良い	外しても良い	外しても良い

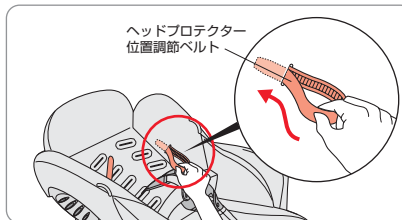
※お子さまに合わなくなった場合は、上記の表を目安に各プロテクター・パッド類を取り外してください。

※フットプロテクターは、車内温度及びお子さまの状態により必要に応じて使用してください。

ヘッドプロテクターの取り外し方



- 1 ヘッドプロテクターの左右にあるバックルの上下のボタンをつまんだ状態で、ヘッドレスト側に抜き取ります。



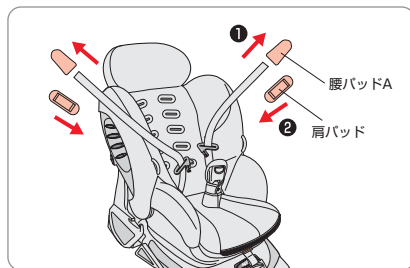
- 2 ヘッドプロテクター位置調節ベルトをシートの中に収納します。

※取り外したヘッドプロテクターはビニール袋などに入れ大切に保管しておいてください。

※取り付ける時は、ヘッドプロテクターの表裏に注意して逆の手順で行ってください。

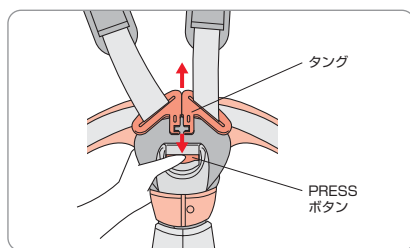
各部の操作方法

腰パッドAの取り外し方 <750>

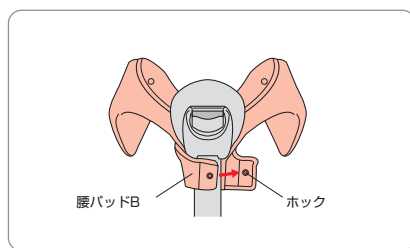


- ①肩ベルトから肩パッドを抜き取り、腰パッドAを抜き取ります。
- ②肩ベルトに肩パッドを必ず戻してください。

腰パッドBの取り外し方 <900・1000>

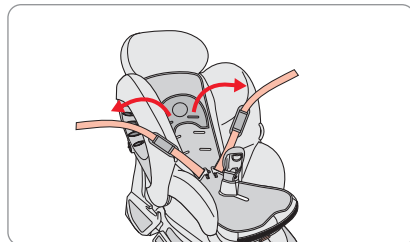


- ①バックルから左右のタングを外します。

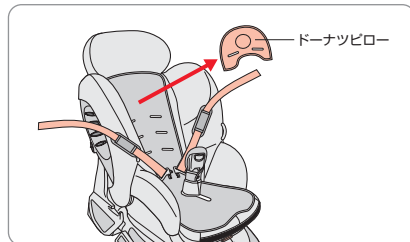


- ②ホックを外し、腰パッドBを取り外します。

ドーナツピローの取り外し方

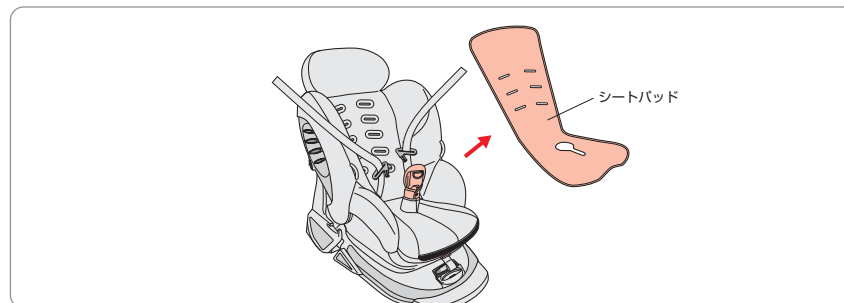


- ①ジョイント金具から左右の肩ベルトを外し、表側から引き抜きます。
- ※ P25 「肩ベルトの高さ調節」 参照。



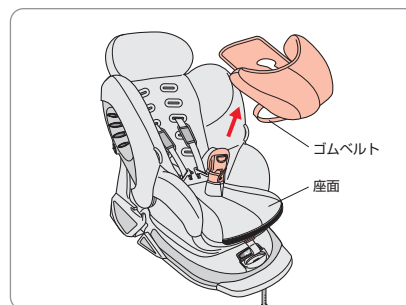
- ②ドーナツピローを取り外します。

シートパッドの取り外し方 <900・1000>



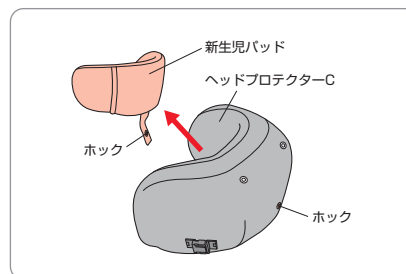
- ジョイント金具から左右の肩ベルトを外し、表側から引き抜き、シートパッドを取り外します。

フットプロテクターの取り外し方 <1000>



- 座面の下側にまわしてあるゴムベルトを外し、上方に引き抜きます。

新生児パッドの取り外し方 <900・1000>



- ヘッドプロテクターCの後面のホックを外し新生児パッドを取り外します。

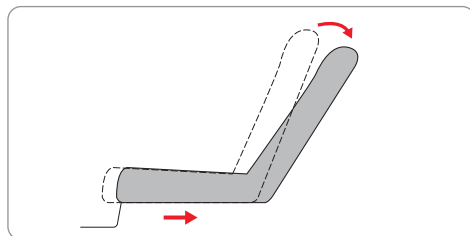
※ P28 「ヘッドプロテクターの取り外し方」 参照。

車への取り付け方法 (横向きベッド・後ろ向き・前向き共通)

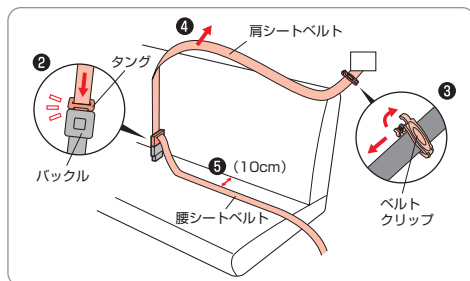
本体の準備

- ※肩ベルトの高さ調節 (P25)、レッグサポートの取り付け (P27) を行ってください。
- ※横向きベッド使用時は、ヘッドプロテクターを必ず取り付けてください。(P28)
- ※後ろ向き・前向き使用時は、ヘッドプロテクター、新生児パッド、ドーナツビロー、フットプロテクター、腰パッドは使用しないでください。

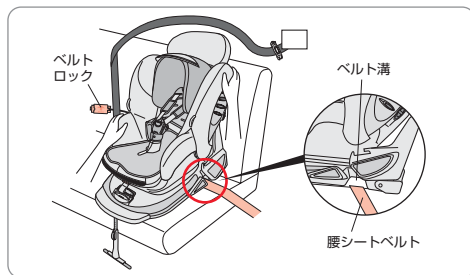
本体の取り付け方



- ①車の後部座席が前後にスライドする場合は、一番後ろの位置までスライドさせ、リクライニング付きの場合は少し寝かせた状態で取り付けます。



- ②シートベルトにねじれがないことを確認して、タンクをバックルに差し込みます。
- ③シートベルトを全て引き出し、ベルトクリップでシートベルトを仮止めします。
- ④肩シートベルトをシートの上側にのせます。
- ⑤腰シートベルトをシートの背もたれから10cm手前にねじれがないように整えておきます。

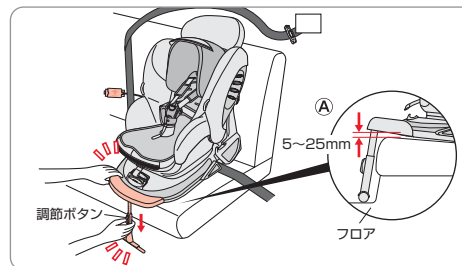


- ⑥本体を前向きに乗せ、ベルト溝と腰シートベルトを合わせます。

※ベルトロックを車のタンク側に引き出しておきます。

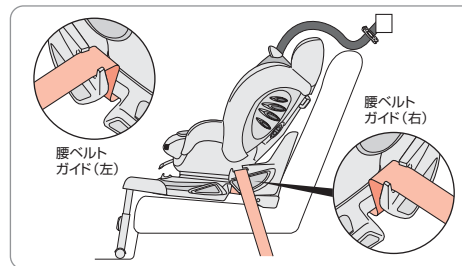


・車の座席が皮仕様の場合には、直接取付けない。
皮が損傷を受けないようにチャイルドシートと座席の間に保護シート (薄いゴムマットなど) をご使用ください。

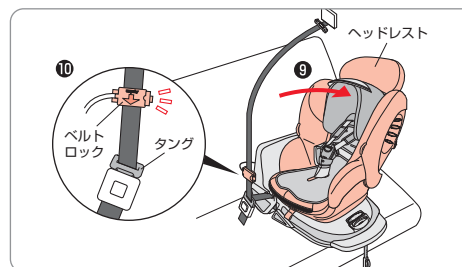


- ⑦レッグサポートの調節ボタンを握り、車のフロアにレッグサポートの底面全体が接地し、安定するように調節してください。この時、Aのスキ間は5~25mm未満であること。(25mm以上になる場合は、レッグサポートを1段階縮めてください。)

※レッグサポートが確実に取り付けられていることを確認してください。

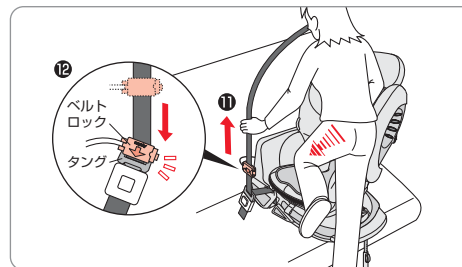


- ⑧左右の腰ベルトガイドに腰シートベルトを通します。



- ⑨ヘッドレストが車のドア側に来るように回転させます。(⑩~⑫の操作がしやすくなります。)

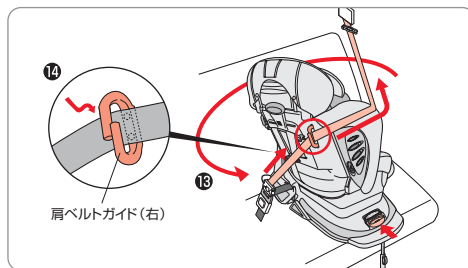
- ⑩ベルトロックの矢印をタンク側に向けタンクの少し上に仮止めします。



- ⑪本体に体重を掛けた状態で、肩シートベルトを真上に強く数回引き上げ保持します。

- ⑫ベルトロックをタンクに当たるまで移動させます。

本体の取り付け方 P31～P32のつづき

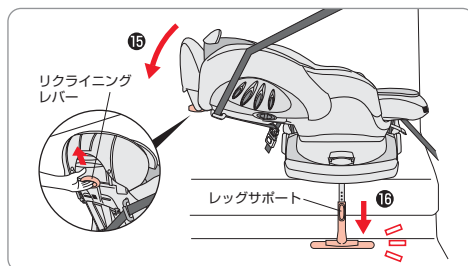


14 ヘッドレストが車の中央側に来るように回転させます。

14 肩ベルトガイド(右)に肩シートベルトをねじれないように通します。

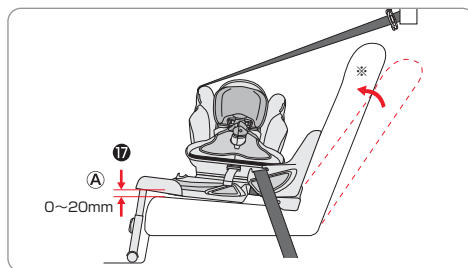
※ベッドの向きがイラストの方向と逆の場合、肩ベルトガイドは左側を使用します。

※肩シートベルトが完全に肩ベルトガイドの内側にあることを確認してください。



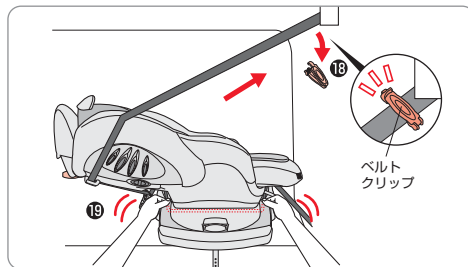
15 本体のリクライニングを3段目(ベッド状態)にします。

16 レッグサポートが車のフロアに接していることを確認します。



17 Aのスキ間が0～20mm未満であることを確認します。(20mm以上になる場合は、レッグサポートを1段階めてください。)

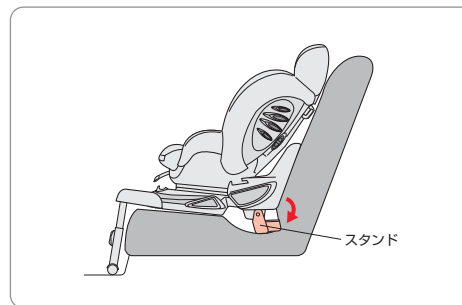
〈座席がリクライニング付きの場合〉
※車の背もたれをチャイルドシートに強く当たるまで起こします。



18 ベルトクリップを外し、余分な肩シートベルトを巻き取り、再度ベルトクリップを取り付けます。

19 チャイルドシートの台座をゆすりシートベルトの緩みが無い事を確認します。

スタンドの使用法

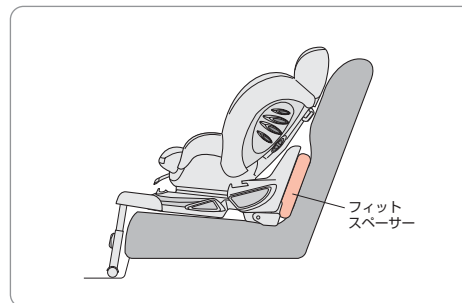


●大腿部、臀部をホールドする為に落とし込んである形状の座席などで、チャイルドシートを定置した際に安定しない場合は、スタンドを立てて調節します。



・スタンドを使用してもチャイルドシートの底面が座席に接する部分が一部の場合はその座席にはチャイルドシートを使用しないでください。

フィットスペーサーの使用法



●腰部をホールドするために落とし込んである形状の座席や、座席の背もたれ角度がチャイルドシートの台座角度に合わず、チャイルドシートを定置した際に安定しない場合は、フィットスペーサーを台座の背面と座席背もたれの間に挟み込んで使います。



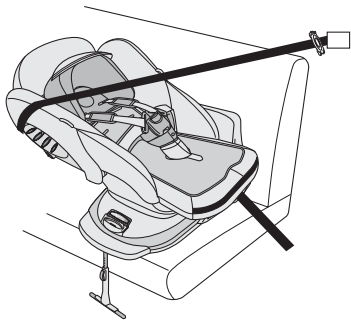
・フィットスペーサーを使用してもチャイルドシートのグラツキが改善されない場合は使用せずに速やかに当社サービス係に連絡してください。



・チャイルドシートを車から取り外す時はベルトクリップを最後に外してください。
※A-ELR(チャイルドシート固定機構)付シートベルトの場合は取り外し作業中にベルトクリップを外すと、ゆるんだシートベルトが全て巻き取られて取り外しが出来なくなるおそれがあります。
・ベルトクリップを使用しない時はヘッドレスト背面部のループにとめて保管してください。

横向きベッド 取り付けチェック

◆：チェック項目



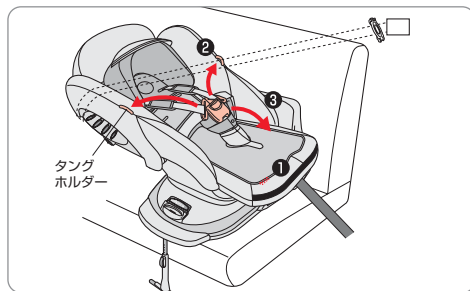
・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

- ◆チャイルドシートの台座部分を両手で持ち、前後左右に動かしても安定していること。
- ◆ベルトロックが確実に取り付けられ、緩みがないこと。
- ◆肩シートベルトが肩ベルトガイドを確実に通っていること。
- ◆レッグサポートの調節ボタンの前にロックを解除する様な物が無いこと。

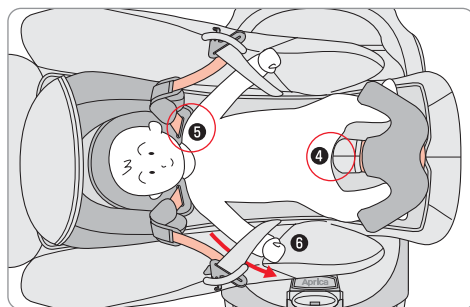
※しっかり固定できていない場合は、もう一度取り付けをやり直してください。

※ヘッドプロテクター・新生児パッド・ドーナツピロー・フットプロテクター・腰パッド、シートパッドは、ベッド状態でのみご使用ください。後ろ向き及び前向きの場合は、上記プロテクター・パッド類を必ず取り外してください。

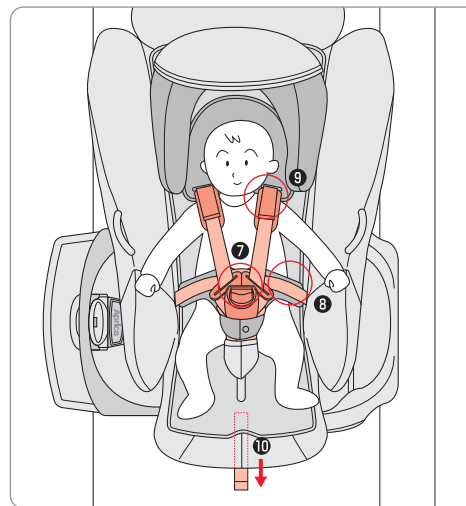
お子さまの乗せ方



- ①肩ベルト調節レバーを持ち上げた状態で、肩ベルトを引いて緩めます。
- ②バックルのPRESSボタンを押し下げてタンクを取り外し、左右のタンクをタンクホルダーに掛けます。
- ③バックルを前に倒します。



- ④お子さまの股間と股ベルトカバーが接するように寝かせます。
- ⑤肩ベルトが、お子さまの肩より高い肩ベルト通し穴に通っていることを確認します。
- ⑥お子さまの手を肩ベルトの下にくぐらせます。



⑦バックルをお子さまの腹部に当て、左右のタンクを合わせてバックルへ差し込みます。

⑧腰ベルトがお子さまの骨盤上に来るように低く下げてセットします。

⑨肩パッドは、お子さまの肩の上にくるようにセットします。

⑩肩ベルト調節ベルトを引っ張り肩ベルトを締めます。(肩ベルトとお子さまの体の間に大人の指1本入る程度まで締めます。)

- ◆肩ベルトが適切な位置を通っていること。(下記注意参照)
- ◆腰ベルトが骨盤上にあること。
- ◆肩パッドが肩の上にあること。

※正しく着座できていない場合は、もう一度必要な手順を行ってください。

注意

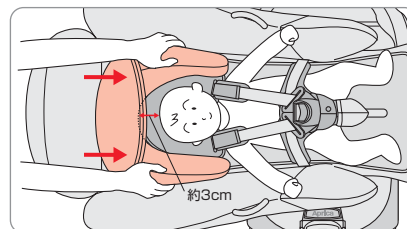
・ベッド使用の場合の肩ベルトの位置は、背もたれに対して直角に見て必ず、お子さまの肩より高い位置にしてください。(0～5cm以内)



ヘッドプロテクターの位置調節

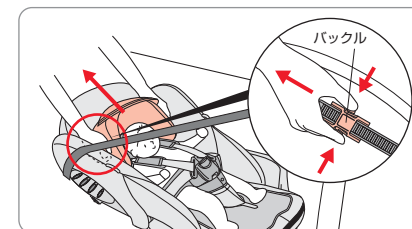
・お子さまの頭頂部と新生児パッドまたは、ヘッドプロテクターのスキ間は、指2本程度(約3cm)離れた位置に調節します。

〈縮める場合〉



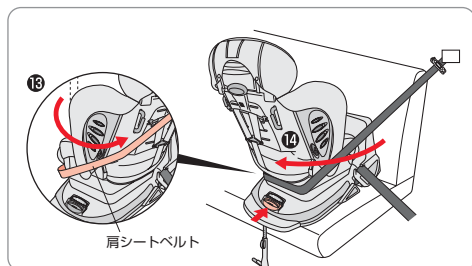
●ヘッドプロテクターをヘッドレスト側から足元に向かって押し込みます。

〈伸ばす場合〉



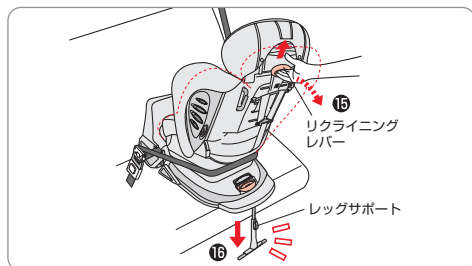
●ヘッドプロテクターの左右にあるバックルの上下ボタンをつまみながらヘッドレスト側に引きのびします。

本体の取り付け方 P31～P32のつづき



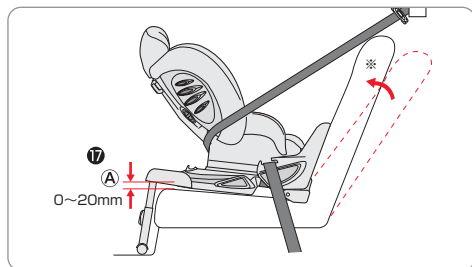
13 肩シートベルトをチャイルドシートの背もたれ側にまわします。

14 本体を後ろ向きに回転させます。



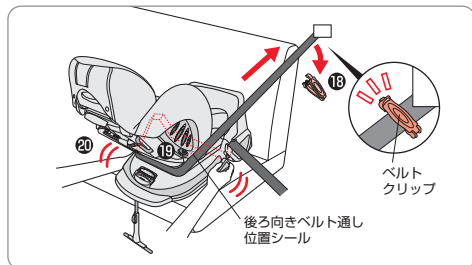
15 本体のリクライニングを2段目にします。

16 レッグサポートが車のフロアに接していることを確認します。



17 Aのスキ間が0～20mm未満であることを確認します。(20mm以上になる場合は、レッグサポートを1段縮めてください。)

〈座席がリクライニング付きの場合〉
※車の背もたれをチャイルドシートに強く当たるまで起こします。



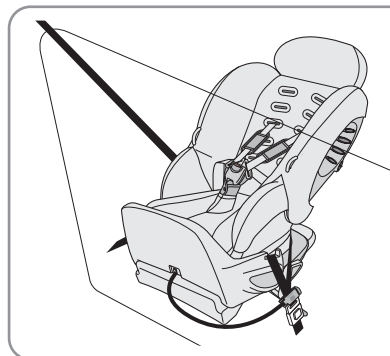
18 ベルトクリップを外し、余分な肩シートベルトを巻き取り、再度ベルトクリップを取り付けます。

19 肩シートベルトが後ろ向きベルト通し位置シールの近くを通っていることを確認します。

20 チャイルドシートの台座をゆすりシートベルトの緩みがない事を確認します。

後ろ向き 取り付けチェック

◆：チェック項目

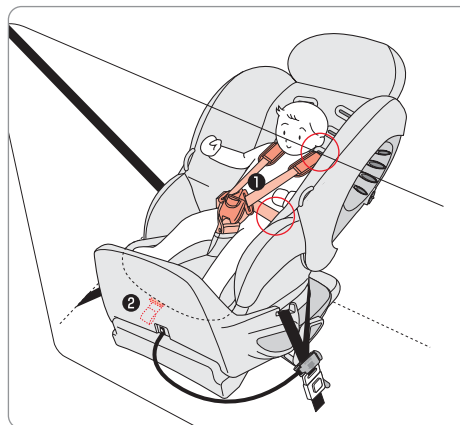


・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

- ◆チャイルドシートの台座部分を両手で持ち、前後左右に動かしても安定していること。
- ◆ベルトロックが確実に取り付けられ、緩みがないこと。
- ◆肩シートベルトが後ろ向きベルト通し位置シールの近くを通っていること。
- ◆レッグサポートの調節ボタンの前にロックを解除する様な物が無いこと。

※しっかり固定できていない場合は、もう一度取り付けをやり直してください。

お子さまの乗せ方



1 お子さまを乗せタングをバックルに差し込みます。

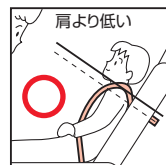
2 肩ベルト調節ベルトを引っ張り肩ベルトを締めます。(肩ベルトとお子さまの間に大人の指1本入る程度まで締めます。)

- ◆肩ベルトが適切な位置を通っていること。(下記注意参照)
- ◆腰ベルトが骨盤上にあること。
- ◆肩パッドが肩の上にあること。

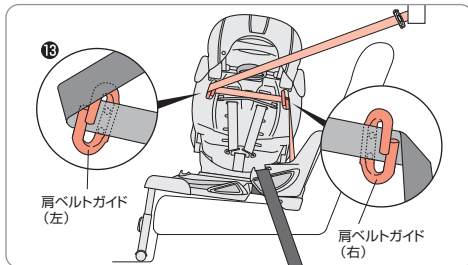
※正しく着座できていない場合は、もう一度必要な手順を行ってください。

注意

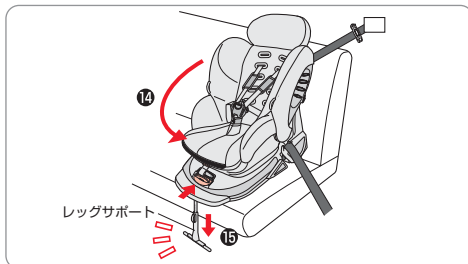
・後ろ向き使用の場合の肩ベルトの位置は、背もたれに対し直角に見て必ず、お子さまの肩よりも低い位置にしてください。(0～5cm以内)



本体の取り付け方 P31～P32のつづき

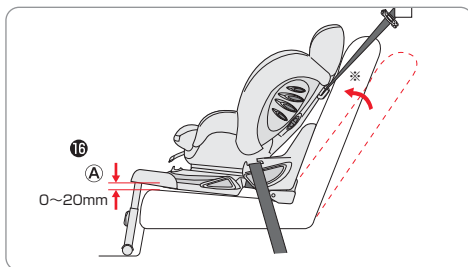


13 左右の肩ベルトガイドに肩シートベルトをねじれないように通します。



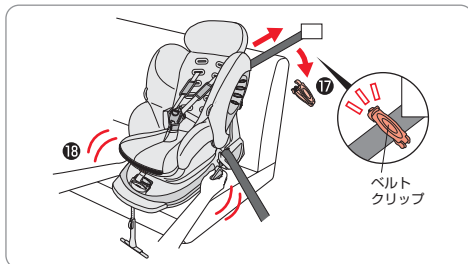
14 本体を前向きに回転させます。

15 レッグサポートが車のフロアに接していることを確認します。



16 Aのスキ間が0～20mm未満であることを確認します。(20mm以上になる場合は、レッグサポートを1段縮めてください。)

〈座席がリクライニング付きの場合〉
※車の背もたれをチャイルドシートに強く当たるまで起こします。

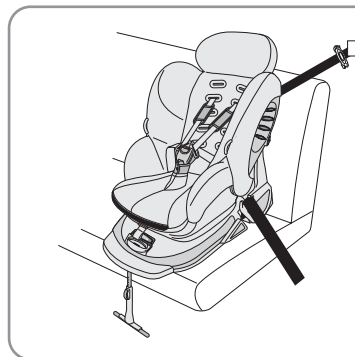


17 ベルトクリップを外し、余分な肩シートベルトを巻き取り、再度ベルトクリップを取り付けます。

18 チャイルドシートの台座をゆすりシートベルトの緩みが無い事を確認します。

前向き 取り付けチェック

◆：チェック項目

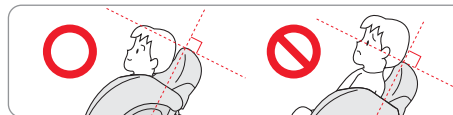


・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

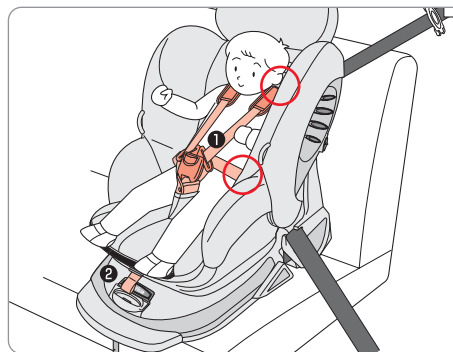
- ◆チャイルドシートの台座部分を両手で持ち、前後左右に動かしても安定していること。
- ◆ベルトロックが確実に取り付けられ、緩みがないこと。
- ◆肩シートベルトが左右の肩ベルトガイドを確実に通っていること。
- ◆レッグサポートの調節ボタンの前にロックを解除する様な物が無いこと。

※しっかり固定できていない場合は、もう一度取り付けをやり直してください。

お子さまの乗せ方



・頭部重心位置（耳の上端部）がヘッドレストの上端部より下にあること。



1 お子さまを乗せタングをバックルに差し込みます。

2 肩ベルト調節ベルトを引っ張り肩ベルトを締めます。(肩ベルトとお子さまの体の間に大人の指1本入る程度まで締めます。)

- ◆肩ベルトが適切な位置を通っていること。(下記注意参照)
- ◆腰ベルトが骨盤上にあること。
- ◆肩パッドが肩の上にあること。

※正しく着座できていない場合は、もう一度必要な手順を行ってください。

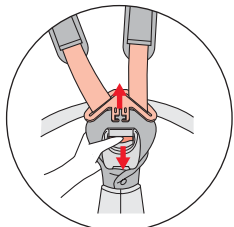
注意

・前向き使用の場合の肩ベルトの位置は、背もたれに対し直角に見て必ず、お子さまの肩よりも高い位置にしてください。(0～5cm以内)

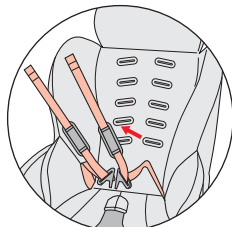


シートカバーの外し方

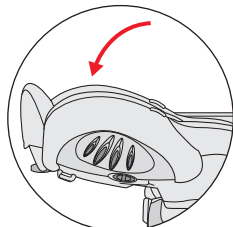
準備



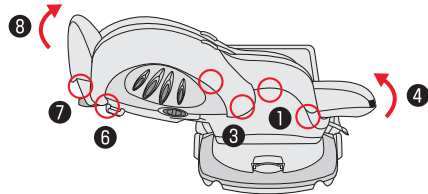
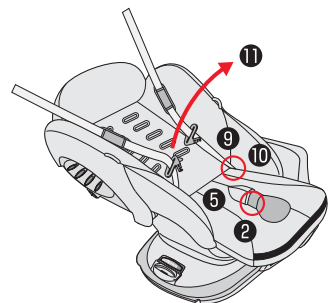
①バックルから左右のタングを外し、肩ベルトを外します。



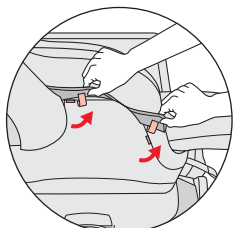
②肩ベルトを引き抜きます。(P25参照)



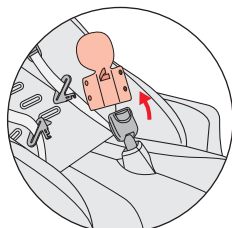
③リクライニングを3段目まで倒します。(P23参照)



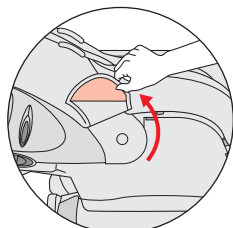
外し方



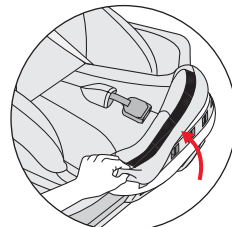
①側面のフック(2カ所)を外します。(左右)



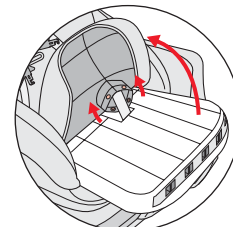
②股ベルトカバーのフック(2カ所)と面ファスナーを外し、抜き取ります。



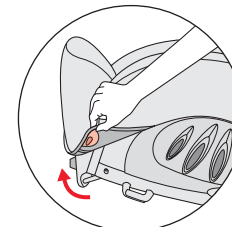
③サイドカバーを外します。(左右)



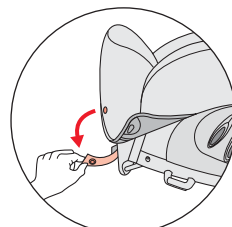
④前側からシートカバーをめくります。



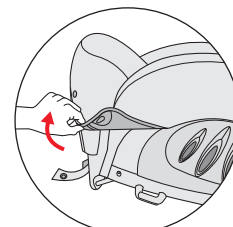
⑤シートカバー裏面の股ベルト部のフック(2カ所)を外します。



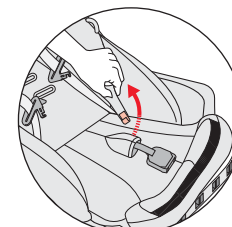
⑥側面上部のフックを外します。(左右)



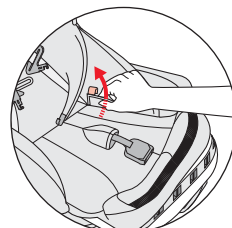
⑦ヘッドレストのベルトフックを外します。(左右)



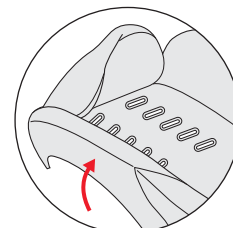
⑧ヘッドレスト部のシートカバーをめくります。



⑨シートカバー腰部のフックを外します。(左右)



⑩シートカバー座部のフックを外します。(左右)



⑪シートカバーを持ち上げて取り外します。

※クッションの取り外しはできません。

お手入れ方法

シートカバーの取り付け方

- ・シートカバーの外し方の逆の手順で取り付けてください。

シートカバーのお手入れ

<750> <900>



液温は、30℃を限度とし、弱い押し洗いにしてください。
(洗たく機は使用できません。)



塩素系漂白剤は、使用しないでください。



アイロン掛けは、しないでください。



ドライクリーニングは、しないでください。



洗たく後、絞らないでください。



干し方は、日陰の平干しにしてください。

<1000>

- ・合成皮革製品のお取り扱い注意

- 洗濯はできません。
- ドライクリーニングはしないでください。
- 汚れた場合は水または少量の中性洗剤をまぜた水溶液を浸した布で拭き取ってください。

樹脂部品のお手入れ

- ・樹脂と車のシート生地などとの摩擦による、ほこりなどを吸着した場合は、タオルなどで乾拭きしてください。

- 水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合
40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
- 非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合
40℃前後のお湯に中性洗剤を溶解し、汚れた部分をスポンジで軽くこすります。その後、冷水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。

保管方法

- ・本体をポリ袋などに入れ、直接日光の当たらない、冷暗所に保管してください。

廃棄方法

- ・事故により処分する場合は、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

アフターサービスについて

- ・使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換又は修理の必要が生じた場合及び、その他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ、お買い上げの販売店または、当社サービス係までご連絡ください。

- ・保証期間中(お買い上げ日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1カ月です。)
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。)

<アフターサービスについての連絡先>

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

<電話連絡先>

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

受付時間：AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、当社所定休日を除く)

<製品をお送りいただく場合のみの宛先>

〒632-0221 奈良県奈良市都祁白石町1397-1

アップリカ 奈良サービスセンター ☎(0743) 84-2050

製品仕様

商品サイズ	ベッド時：W795×D595×H840		
	起立時：W455×D635×H1145		
商品重量	<750>	<900>	<1000>
	14.7 kg	15.0 kg	15.1 kg
材質	樹脂部：ポリプロピレン		
	シートクッション：ポリウレタン発泡		
	表生地：ポリエステル		

ご使用前に困ったとき

No	お気づきの点	対処方法
①	梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	販売店または当社サービス係に連絡してください。 参照 P44「アフターサービスについて」
②	チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	販売店または当社サービス係に連絡して確認してください。 参照 P44「アフターサービスについて」 または、インターネットのアプリカホームページ「 http://www.Aprica.jp/ 」のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表にご使用になる車の車種が有ることを確認してください。
③	車のどの座席に取り付ければ良いか判らない。	エアバックの有る助手席に後向きに取り付けることができません。また、車両後部座席(3列シートの車両の場合は2列目以降の座席)への取付をお奨めします。 参照 P5「座席の位置及び装備」
④	チャイルドシートをどの向き(横向き・後向き・前向き)で使えば良いか判らない。	お子さまの体重・身長からお使いになる向きを決定してください。 参照 P4「お子さまの使用条件」

車への取り付けで困ったとき

No	お気づきの点	対処方法
①	シートベルトの通し方が判らない。	取扱説明書及び台座の表示シールの内容に従って正しく通してください。 参照 P33(横),37(後ろ),39(前)「本体の取り付け方」
②	シートベルトの“ねじれ”が取れない。	チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。 参照 P33(横),37(後ろ),39(前)「本体の取り付け方」 シートベルトのバックルにタンクを“ねじって”挿入していないか確認してください。 参照 P33(横),37(後ろ),39(前)「本体の取り付け方」
③	シートベルトのゆるみやたるみが取れない。	取扱説明書に従い、本体に体重を掛け、車の座席に十分沈み込ませた状態で、シートベルトを締め付けてゆるみやたるみをなくしてください。 参照 P33(横),37(後ろ),39(前)「本体の取り付け方」
④	チャイルドシートを、取扱説明書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	台座を持ち前後左右に動かした時に、移動量が2.5cm以内ならば問題ありません。2.5cm以上発生する場合は、車体への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直ししてください。 参照 P33(横),37(後ろ),39(前)「本体の取り付け方」
		スタンド・フィットスペーサーをご使用ください。 参照 P34「スタンド・フィットスペーサーの使用法」 何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。販売店または当社サービス係に確認してください。 参照 P44「アフターサービスについて」

お子さまの着用や調節で困ったとき

No	お気づきの点	対処方法
①	肩ベルトを最も引き出した状態で、お子さまに肩ベルトを通すとバックルにタンクが差し込みない。	厚手の上着は脱がせてください。
		肩ベルトの取り付け段を長くなる位置でお使いください。 参照 P25~26「肩ベルトの高さ調節」 ジョイント金具が本体や台座などに引っ掛かっていないか確認してください。 参照 P25~26「肩ベルトの高さ調節」
②	肩ベルトとお子さまの適切なフィット感が判らない。	肩ベルト調節ベルトを引き、ベルトとお子さまの隙間が指1本入る程度まで締め込んでください。 参照 P35(横),38(後ろ),40(前)「お子さまの乗せ方」
③	肩ベルトの左右の張りに大きな差がある。	肩ベルト通し穴の位置が左右同じ高さになっているか確認してください。 参照 P24「肩ベルト通し穴位置」
		肩ベルトの取り付け段が同じ位置か確認してください。 参照 P25~26「肩ベルトの高さ調節」
④	チャイルドシートのバックルにタンクが入らない。	タンクとバックルの間にバックルカバーなどを挟み込んでいないか確認してください。 参照 P35(横),38(後ろ),40(前)「お子さまの乗せ方」
		バックルにジュース、泥水、ゴミ、食べ物カスなどが入った為にプレスボタンが動かない場合は使用できません。 参照 P17「ご使用上の注意(注意)」
⑤	ヘッドプロテクターが窮屈になった。	ヘッドプロテクターの左右にあるバックルの上下ボタンをつまみながらヘッドレスト側に引きのばしてください。 参照 P36「ヘッドプロテクターの位置調節」

再利用で不明な場合

No	お気づきの点	対処方法
①	前の使用者の使い方が分からない。	使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
②	クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある。	ご使用になれません。 参照 P17~18「ご使用上の注意(禁止)」

※お客様登録カードは、当社よりリコールや自主回収などチャイルドシートに係る重要な情報を連絡する際に必要となります。お買い上げ日、またはお子さまが生まれた日より1カ月以内に投函してください。